

都市再生整備計画 事後評価シート  
児玉駅周辺市街地地区

令和3年3月  
埼玉県本庄市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	埼玉県		市町村名	本庄市		地区名	児玉駅周辺市街地地区			面積	313 ha		
交付期間	平成27年度～平成31年度		事後評価実施時期	令和2年度		交付対象事業費	343.9百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
			基幹事業	道路(市道1-107号線)、公園(清水の池公園)									
	当初計画から削除した		提案事業	競進社模範蚕室前休憩スペース等整備事業、競進社模範蚕室等展示解説ボランティア養成事業									
			事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	新たに追加した事業		基幹事業	-			-			-			
			提案事業	-			-			-			
交付期間の変更		当初	-		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-					
		変更	-										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値					
	指標1	競進社模範蚕室の年間来場者数	人	571	25	3,200	31		2,487 (H31) 3,241 (H30)	○	あり なし	競進社模範蚕室の来場者数は、目標年度である平成31年度に目標値を達成することはできなかったが、外構及び休憩施設の整備が完了済みである平成30年度に3,241人の来場者数を記録しており、アクセス道路である市道1-107号線の整備を含めて指標の達成に向けて効果が見られた。	-
	指標2	児玉駅の年間利用者数	人	128,480	25	130,000	31		129,940 (H31) 136,145 (H30)	○	あり なし	新型コロナウイルスによる影響もあり、平成31年度に目標値を達成することはできなかったが、平成30年度に136,145人の利用者数を記録している。同年度は競進社模範蚕室の来場者数についても目標値を達成できており、相乗的な効果があったと見込まれる。	-
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値					
	その他の数値指標1	競進社模範蚕室ボランティアガイドの年間活動回数	回	0	25				5 (H31)			競進社模範蚕室等の展示解説ボランティア養成事業により、団体客等を含む来場者への展示解説ボランティアの確保に繋がっただけでなく、年間を通して定期的な活動が見られるものとなった。	-
その他の数値指標2	塙保一記念館の年間来館者数	人	3,453	25				6,377 (H31)			本地域内に存する文化財である塙保一記念館の来館者数についても、基準年度より来館者数が飛躍的に向上しており、競進社模範蚕室を含む文化財に対する注目度について相乗的な効果が見られた。	-	
4)定性的な効果発現状況	市道1-107号線、市道5-826号線の整備は、歴史的な文化財である「競進社模範蚕室」へのアクセス道路としての機能だけでなく、児玉市街地内の交通利便性や安全性を向上させた。清水の池公園の拡張整備は、既存市街地内の自然環境の保全や地域の憩いの場の確保に繋がった。競進社模範蚕室の外構及び休憩スペース等の整備により、大型車両のアクセスや来場者の利便性を向上させたことで来場者数の増加と共に、展示解説ボランティアの養成により来場者への説明の質の向上に繋がった。												

5)実施過程の評価	実施内容	実施状況			今後の対応方針等
		都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	
	モニタリング	—	—	—	—
	住民参加プロセス	競進社模範蚕室前休憩スペース等整備事業における地元住民との協議 【実施頻度】計2回 【実施時期】平成27年12月～平成28年1月 【協議先】地元自治会・埼玉県立児玉白楊高等学校 【実施内容】競進社模範蚕室の外構及び休憩スペースの整備にあたり、整備方法及び今後の活用案について意見交換を行った。	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	— ●	住民意見を踏まえたうえで、当該事業の整備を実施した。今後は住民との協働による整備箇所の活用方法について検討していく。
	住民参加プロセス	競進社模範蚕室等展示解説ボランティアの活動 【実施頻度】年間5～7回 【実施時期】平成28年～ 【参加人数】1～5人／回 【実施内容】本計画の「まちづくり活動推進事業」にあたる「競進社模範蚕室等展示解説ボランティア養成事業」にて養成されたボランティアによる活動。競進社模範蚕室を訪れる団体客等を対象とした展示解説を実施している。	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	— ●	養成後、定期的な活動が実施されており、事業の効果が見られている。今後は、児玉地域におけるその他の文化財等との連携、イベント開催と併せた活動等を検討していく。
	住民参加プロセス	清水の池公園愛護団体の活動 【実施頻度】年3回 【実施時期】平成21年～ 【参加人数】16～35人／回 【実施内容】清水の池公園内のごみ拾い、除草作業を実施している。	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	— ●	参加者の高齢化が進んでいるため、若い世代の人材育成や地元自治会以外の参加者を募る方策を検討していく。
	持続的なまちづくり体制の構築	—	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	— —	—
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	—	

## 様式2-2 地区の概要

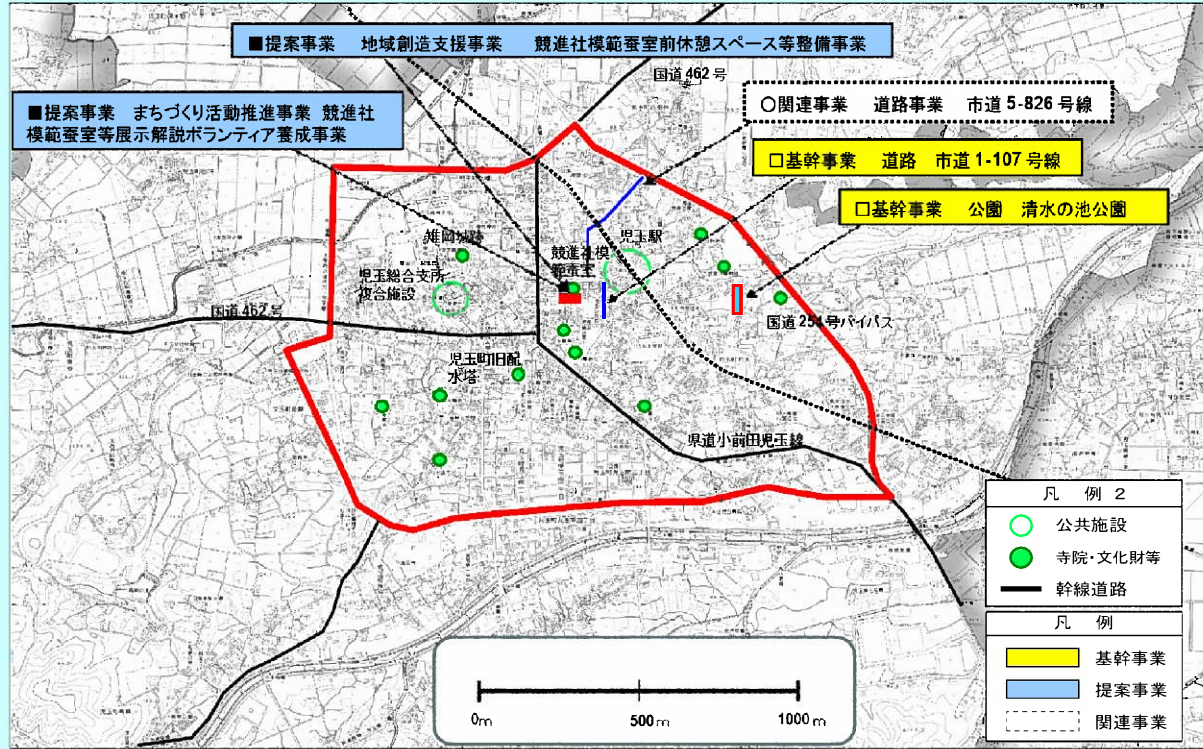
### 児玉駅周辺市街地地区(埼玉県本庄市)都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標:地域の拠点である市街地のにぎわい回復による持続可能なまちづくり 小目標1:絹産業遺産である競進社模範蚕室を中心に、歴史的資源を観光資源として活用した広域連携により まちなかに人を呼び込み、地域の活性化を図る。 (平成26年5月29日内閣府により選定された地域活性化モデルケースとの連携) 小目標2:憩いの場の創出により、訪れやすい歴史文化・自然のあるまちとしての魅力の向上を図る。	競進社模範蚕室の年間来場者数	単位:人 571	H25 3,200	H31 2,487
	児玉駅の年間利用者	単位:人 128,480	H25 130,000	H31 129,940

#### ■提案事業 地域創造支援事業 競進社模範蚕室前休憩スペース等整備事業



#### ■提案事業 まちづくり活動推進事業 競進社模範蚕室等展示解説ボランティア養成事業



#### ○関連事業 道路事業 市道5-826号線



#### □基幹事業 道路 市道1-107号線



#### □基幹事業 公園 清水の池公園



#### まちの課題の変化

- ・市道1-107号線、市道5-826号線の整備は、歴史的文化的財である「競進社模範蚕室」へのアクセス道路としての機能だけでなく、児玉市街地内の交通利便性や安全性を向上させた。
- ・清水の池公園の拡張整備は、既成市街地内の自然環境の保全や地域の憩いの場の確保に繋がった。
- ・競進社模範蚕室の外構及び休憩スペース等の整備により、大型車両のアクセスや来場者の利便性を向上させたことで来場者数の増加と共に、展示解説ボランティアの養成により来場者への説明の質の向上に繋がった。
- ・清水の池公園を含む公園等の憩いの場や商業地における空き店舗や空き地を活用した、コミュニティ空間、滞留空間の確保、イベントの開催など、まちなかへ人を誘導し賑わいを取り戻す官民連携を含めた取り組みが必要である。
- ・世界文化遺産に登録された「富岡製糸場と絹産業遺産群」に関係が深く、外構及び休憩スペース等の整備により利便性を向上した競進社模範蚕室の更なる活用に向けた具体的な検討が求められる。

#### 今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)

- ・市民の生活や活動の基盤となるインフラの整備や維持管理を適切に実施する。
- ・持続可能なまちづくりを目指すためには、様々なまちづくりの活動において住民参加など地域の担い手である市民との協働は欠かせない。市民との協働の機会を創出するとともに、市民のまちづくりに対する意識や主体性を高める取り組みを積極的に実施する。
- ・清水の池公園を含む公園等の憩いの場や商業地における空き店舗や空き地を活用した、コミュニティ空間、滞留空間の確保、イベントの開催など、まちなかへ人を誘導し賑わいを取り戻す官民連携を含めた取り組みを実施する。
- ・競進社模範蚕室を含む児玉市街地内の文化財については、これまで施設整備やボランティア養成など利用促進に向けた取り組みを行っているが、今後は、施設の適切な維持管理や積極的な情報発信、他の施設との連携により来場者の増加を図る必要がある。